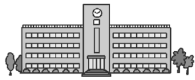


スクール便り



農業土木科の地域を担う人材育成

—香川県立石田高等学校 農業土木科—

1. 学校紹介

本校は明治44年に大川郡立第二実科女学校として設立され、昭和13年に香川県立大川農業学校と改称し農業学校としての歩みを始めた。その後、学制改革により昭和23年から香川県立大川農業高等学校となり、翌年から香川県立石田高等学校として幾多の変遷を重ねながら、本年度は創立105年目を迎える歴史ある専門高校である。所在地は香川県東部の農村地帯、さぬき市寒川町であり、生産経済科・園芸デザイン科・農業土木科・生活デザイン科の4学科が設置されている。生徒数は362名である。

農業土木科は昭和44年農業土木コースとして設置され、実習室などの設備を充実させながら昭和47年に農業土木科となった。平成6年には、第45回日本学校農業クラブ全国大会（香川大会）において平板測量競技会を本校で開催している。

2. 農業土木科の教育活動

(1) **農業土木科の専門教育** 香川県に土木を学ぶ専門高校は3校しかなく、地域を担う人材の育成は県民から期待されているところである。農業土木科では、1年次から総合実習を中心に職業人としての心構えを指導している。資格取得についても早くから意識させている。2年次には地元企業の協力を得てインターンシップを行い、地域と連携して生徒の就職意欲を高めるよう取り組んでいる。3年次では課題研究を通して、自らの設定した課題をどのように探究し、どのような結果が得られたのか後輩に向けて発表する機会を持つようにしている。

(2) 履修している専門科目

1年次：農業と環境 (2)、農業情報処理 (2)、
測量 (3)、総合実習 (4)

2年次：

【共通履修科目】農業土木設計 (3)、測量 (2)、
農業土木施工 (2)、水循環 (2)、
総合実習 (4)

【土木工学コース】測量 (4)

【環境工学コース】農業土木施工 (4)、
環境科学 (2)

【SLコース】：大学進学のためのコース

国語表現 α (2)、英語表現 I α (2)、
数学 II β (2)

3年次：

【共通履修科目】農業土木設計 (2)、
農業土木施工 (2)、課題研究 (3)、
総合実習 (4)

【土木工学コース】農業土木設計 (2)、
水循環 (2)

【環境工学コース】測量 (2)、社会基盤工学 (2)

【SLコース】：大学進学のためのコース

国語表現 α (2)、数学 II β (2)、
物理 (4)



写真-1 実習風景：1年生 総合実習（製図）



写真-2 実習風景：1年生 測量合宿



写真-3 実習風景：2年生 インターンシップ



写真-4 実習風景：3年生 課題研究発表会

3. 農業土木科の進路状況

(1) 進路指導の状況 平成27年度の建設業や製造業の求人は、前年度より増加した。本校のある香川県東部地域は中小の建設会社や各種製造業の会社があり、他業種も含めると地元で就職する機会が多い。しかしながら、他校の生徒と競合するため、学力向上やキャリア教育の充実が本校の課題である。

建設業協会と連携し農業土木科2年生全員に3日間のインターンシップを実施している。その結果、3年生の約半数が建設業への就職を希望するようになった。また、3年目を迎える朝の振り返り学習も生徒の基礎学力向上と学習習慣の定着に成果をみせつつある。昨年度の進学状況は、2割の生徒が大学・専門学校へ進学している。大学・専門学校の内訳は、半数ずつとなっている。

(2) 今後の課題

【目標とする進路先】

進学：国公立大学，私立大学（農業土木系，一般土木系），専門学校

就職：関連事業所，
公務員（土木もしくは農業土木）

【教科指導】

進学：1年次から生徒や保護者と進路について共

通理解を図り，進学を希望する生徒に対しガイダンスや教科指導を積極的に行う。

就職：専門知識や土木技術を習得させるために，科目や実習をわかりやすく指導する。

課外授業にも力を入れ，資格取得の意欲を向上させる。

4. 資格取得

- ・測量士補
- ・2級土木施工管理技術者試験
- ・トレース検定
- ・ビジネス文書実務検定
- ・ガス溶接技能講習
- ・危険物取扱者試験 乙種4類
- ・危険物取扱者試験 丙種
- ・アーク溶接の業務等特別教育
- ・小型車両系建設機械特別教育
- ・小型フォークリフト特別教育
- ・高所作業車特別教育

5. おわりに

農業土木科は，長年にわたり地域を担う人材育成に主眼を置いてきた。おかげで地域を支える中小企業や公務員の主要ポストに卒業生が従事し，在校生の研修などは協力を得やすい。この現状に感謝しながら，これから将来にわたっても後に続くような人材育成を行っていかねばならないと感じているところである。

また，校内だけの実習では内容が限られるため，地域と連携して活動を行うような取組みも始めたところである。地域ボランティアと協力して，近隣の総合病院で花を植える活動を行ったり，学校から15km程離れた里山へ棚田保全活動として石垣を積む実習に出掛けたりと地域貢献の幅を広げる努力をしている。このような経験が，専門科目に対する興味や関心を深め，自ら行動することのできる生徒へと成長してくれれば良いと願っている。

近年の土木技術の進化は目覚ましく，GNSS測量器やトータルステーション連動のデジタル平板システムなど生徒に実習させるための設備の充実も図っている。これだけの測量機器を高校生の実習用に整備している学校は全国でも数少なく，香川県の土木・建設業界からの期待もあり，最新の機器操作を体験させることを重視している。

地域から求められている人材と生徒が感じることで自信を持ち，積極的な姿勢で社会へと羽ばたいてもらえるよう指導を続けていきたいと考えている。

（香川県立石田高等学校 農業土木科
教諭 藤沢丞智）